

## 事業所における自己評価結果（きらり公表）

公表：令和6年3月26日

事業所名 児童発達支援センターきらり

区分	No	チェック項目			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
			はい	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・活動に応じた十分なスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		・基準を上回る職員配置数となっています。	
	3	生活(活動)空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・生活空間は、親子が安心して活動できるような配置となっています。また、設備等は、バリアフリーとなっています。	
	4	生活(活動)空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・指導訓練室の床は、活動終了後に、次亜塩素酸ナトリウム溶液により、拭き掃除を行っています。また、玩具等の使用後は、洗浄の徹底を図っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・支援開始前と支援終了後の職員間での打合せの機会等を通じて、PDCAサイクルによる業務改善を行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・毎年、保護者等向け評価と事業所向け自己評価を行い、その結果を日々の支援や業務改善につなげています。また、結果については、ホームページに公開しています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・毎年、研修計画を定め、職員が積極的に研修に参加できるように配慮しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・定期的に保護者と懇談の機会を設け、ニーズや課題の分析を行い、児童発達支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・年に1回、ADL(日常生活動作)等について、保護者に記入していただき、確認しています。	・アセスメントツールの様式については、今後検討していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・多職種協同によるカンファレンスにより、各々の立場から支援に必要な項目を選択し、その上で具体的な支援内容を設定しています。	・「家族支援」、「地域支援」の項目設定については、今後検討していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・児童発達支援計画に沿った支援を行っています。	

## 事業所における自己評価結果（きらり公表）

公表：令和6年3月26日

事業所名 児童発達支援センターきらり

区分	No	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・多職種協同により、活動プログラムの立案を行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないように工夫している	○		・同類の活動が重複しないように間隔を空ける等の配慮を行い、各組の特性にあわせた支援活動を提供しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	○		・個別活動は実施していませんが、集団活動の中で、個々に合わせた参加方法を検討しています。	・個別活動の実施については、今後検討していきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・支援開始前に職員間で打合せを行い、支援内容や役割分担の確認を行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・支援終了後に職員間で打合せを行い、活動の振り返りやお子様の様子等について話し合い、情報を共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・毎日、職員が活動時の様子等を記録して、変化を察知したら早急に対応できるようにしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・定期的にモニタリングを行い、必要に応じて、児童発達支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・担当保育士や看護師を中心に対応しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・必要に応じて連携を行っています。	
	23	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		・必要に応じて連携を行っています。	
	24	子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えている	○		・必要に応じて連携を行っています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・保育所等訪問支援事業の実施等を通じて、情報共有等を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・早期から特別支援学校等との連絡調整を行い、必要に応じて、職員は、保護者と特別支援学校等との就学相談にも同行しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・東海地区医療型児童発達支援センター協議会等に加盟し、情報交換等を行っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		・保育所等との交流については、今後検討していきます。

## 事業所における自己評価結果（きらり公表）

公表：令和6年3月26日

事業所名 児童発達支援センターきらり

区分	No	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		・子ども・子育て会議等への参加については、今後検討していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・親子通所の施設であり、毎回、お子様の様子等について保護者と確認しています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・年に4回程度、専門家を招いて、保護者勉強会を行っています。 ・家庭において親子で簡単に取り組める遊びを、ホームプログラムとして、毎月、保護者に提供しています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時や改定等があった際に、その都度、丁寧な説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ている	○		・児童発達支援ガイドラインに基づいて児童発達支援計画を作成しています。また、わかりやすい言葉を使いながら保護者に説明を行い、同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・定期的な懇談もありますが、親子通所施設であるため、保護者の子育ての悩み等については、随時相談を受け付けています。	
	35	保護者会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・毎月、保護者交流会を開催して、保護者同士の連携を支援しています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・保護者から相談を受けた際は、相談内容に応じて、専門職が対応を行い、必要な助言を行っています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・保護者向けのお便りを毎月発行して、活動内容や健康上の留意点等をお伝えしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・個人情報の取扱いについては、注意を徹底しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・障がいに応じたわかりやすいコミュニケーションツール手段を使い、情報伝達を行っています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている		○		・地域住民を招待する行事等については、今後検討していきます。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を行っている	○		・マニュアルを策定し、職員に周知するとともに、定期的に訓練を行っています。	
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・非常災害を想定した訓練については、毎月実施しています。		

## 事業所における自己評価結果（きらり公表）

公表：令和6年3月26日

事業所名 児童発達支援センターきらり

区分	No	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時の対応等	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○		・通所開始時をはじめ、3か月毎に実施される主治医診察時に看護師が同席して、情報把握に努めています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・食物アレルギーのあるお子様は、医師の指示書に基づき、複数人でチェックを行っています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハット時には、報告書を作成し、その都度、職員間で共有を図っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・虐待防止委員会を設置して、職員研修を定期的に行っています。また、毎月、チェックリストにより、各職員が自己点検を実施しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・やむを得ず身体拘束を行う場合には、組織的に決定し、保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しています。	